

KP会議ニュース

※KP会議とは、工事品質向上を目的に実施している社内支援会議です。KP:「工事品質向上プロジェクト」の略

令和6年9月10日

本田建設株式会社

9月10日(火)、「国道264号(豆津橋工区)道路橋りょう補助工事(橋梁補修工)」の現場において「**若手・女性技術者現場研修会**」を実施しました。

今回の研修会では、橋梁補修のひび割れの着工前測量として、これまでの技術では足場を組んで目視によりひび割れを確認しておりましたが、昨今のICT技術向上により、ドローン撮影によりひび割れを検出する新しい技術が開発されています。この度、当現場にて新技術のデモを実施することとなり、その新技術を学ぶ研修会を10名参加の下実施しまし

若手技術者の古賀監理技術者から、工事概要説明



橋脚のひび割れをドローン撮



専門家に質問する若手社員



足場上からひび割れ注入状況の見学



この技術を活用すれば施工管理上次のような効果が期待できる！

- ①足場設置前に事前把握(着工前測量)が可能。→工程短縮が図られる。
- ②撮影した写真から、CADデータ化、数量計算書の自動化が可能。→業務改善
- ③安全施工が可能。
- ④維持管理への活用も可能。

※このように、省力化、安全化ができ工期短縮、業務改善への効果が期待できることが分かった。ただし、まだ、精度的な課題もありそうだ。

本日の研修では、若手技術者(古賀監理技術者)自ら現場説明を行っていただきました。

今回の研修会での意見は、みんな勉強になったとのことでした。そして、現場でこのような技術を採用する場合、採用目的や費用対効果を十分検討しないといけないとか、省力化、安全性の向上という観点から新技術の採用を積極的に行って行きたいなどの意見が出ました。

昨今の人手不足や働き方改革などを背景にIT技術を活用して仕事を行って行くことが避けられない状況だと思えます。今後もチャレンジ精神をもって仕事に取り組んで欲しいと感じました。